

地域の声

暮らしを支える神奈川県政をめざして再び

神奈川県議会議員に再選されて本当に良かったです！「おめでとうございます」ではなく我が事のように喜んでいきます。

現在の日本社会がどうなっていくのか本当に心配です。一番の元凶は格差社会にあると思います。若い人は非正規雇用で使い捨てにされ、職場で培われてきた技術は継承されず、目先の儲けだけを追い求め、「生産性・経済効果が一番」の基準で全ての事が決められているように思います。

庶民は生活に追われて周りの事が見えない状態になっています。とりわけ若い世代が社会問題などへ疑問を投げかけ、行動することが少なくなっていると思います。これでは日本社会に希望が持てません。

4年前、県民の生活に目を向けない神奈川県議会に風穴を空けた共産党議員団の働きは大きかったと思います。今度は大企業にやさしい神奈川県へ一石を投げ入れてください。「働き方改革」などという言葉でごまかし、一方で働く者を平気で解雇する経営者を守っている行政は許せません。

小柄で全身が筋肉？・力で満ちあふれているように寸暇を惜しんで行動されている君嶋さんは、庶民の希望の星です。

新城 ku

今回、神奈川県議会に再び送り出していただき、ありがとうございました。中原区としては、大庭ゆう子市議、市古次郎市議とともに3人揃って当選させていただきました。引き続き県政・市政連携し要求実現をめざします。

また高津区の石田和子県議の誕生で、二人の



左から大庭市議、君嶋県議、市古市議



当選証書を受けとる君嶋県議

県議選出という川崎の底力を示していただきました。

一方で、今回日本共産党県議団は、現職3人の議席を失い、石田県議、神奈川県の上野たつや県議が加わった5人でのスタートとなりました。



この4年間で、6人の県議団は、県民の暮らしに寄り添うという自治体として当たり前前の政策を実現するため、共産党の議席だからこそその質問と提案を重ねてきました。この間の貴重な取り組みが、多くの有権者の方に知られていないことを、選挙結果は示しているように思います。

国政と違い、県議会・県政などは、マスコミ報道の対象となることもごく限られています。議会の実態と、共産党の住民要求と結びついた働きを的確に伝える努力が一層必要なことを、痛感しています。

新しいメンバーで、この4年間の実績をさらに進める決意です。



日本共産党
神奈川県議員

君嶋ちか子の
すまいる通信
県政報告

2019年5月発行
第16号

<発行連絡先>
日本共産党
神奈川県議団
横浜市中区
日本大通り1
Tel 045-
210-7882

君嶋事務所



JR南武線向河原下車2分
南武沿線道路沿い左手



くらし・県政・法律相談をやっています。

毎月第1週の金曜日 午後7時より

*事前に予約をお願いします。



住所 〒211-0011
中原区下沼部1763
tel/fax 044-789-5323

新しい議員団がスタート



左から
石田和子県議、大山奈々子県議、井坂新哉県議、
君嶋ちか子県議、上野達也県議

再びバッジを受けとって

4月30日には、記章(バッジ)交付が行われました。
新しい県議団メンバー5人揃つての写真を撮り、新しい4年間への決意を新たにしました。

各会派届も

新しい構成による会派届もこの日、各会派から提出されました。
この届を基に交渉会派の確認、議場の割り振り、控え室の調整、質問の順番などが決められます。

交渉会派になれば

今回、共産党議員団が6人

から5人になり、交渉会派基準がどうなるかが関心事でした。

交渉会派になると議会運営委員を出すことができ、代表質問も行うことができます。

交渉会派入りが確定

5月7日の議運世話人会において、交渉会派は、今まで通り4人以上とすることが決まり、共産党県議団の交渉会派入りも、ようやく確定しました。

本格的活動がいよいよ始まりです。

共産党の議席の価値を存分に発揮していきたいと思えます。

自民党	49名
立憲民主党	26名
公明党	8名
かながわ県民・民主	8名
共産党	5名
県政会	5名
神奈川ネット	1名
わが町	1名
大志会	1名
下郡	1名

【会派】

議会内で活動を共にする議員グループ。

単一政党の場合、複数政党の場合、また、政党に所属しない議員で会派を組むこともあります。

会派議員数に応じて、委員会委員数、質問時間、控えなどが割り当てられます。

【交渉会派】

一定数以上の議員が所属する会派で、非交渉会派にはない権限を持ちます。

現在、神奈川県議会においては、4名が基準です。

過去に、共産党議員が6人になった時に、交渉会派基準が引き上げられたこともあります。

